



【目指す学校像】「教師が、児童が、気力に溢れ、真剣な眼差しと笑顔に満ちた学校」

みずたに

令和7年1月8日

「正義感あふれる学校に」

校長 大島 仁

新年あけましておめでとうございます。本年も、引き続き、本校の教育活動に対するご理解とご協力をお願いいたします。

さて、本日、3学期の始業式を迎えました。3学期は登校日が51日（6年生は50日）ですが、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染予防を行いながら、学びを充実させてまいります。引き続き、学校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

始業式で児童に向けて話した内容を記載します。

新年のあいさつをしましょう。あけましておめでとうございます。令和7年へび年になりましたね。へび年はへびが脱皮を繰り返して成長するイメージやえさを食べなくても生きていける強い生命力を持つイメージから、新しいことに挑戦する年とか、変化に自分から合わせて力強く乗り越えていく年と言われてます。簡単に言うと「挑戦」と「変化を乗り越える」年です。皆さんも、やってみたいことややったことがないことなどにぜひ挑戦してください。また、6年生は4月から中学生です。大きく変化する年です。そのほかの皆さんも4月に学年やクラスが変わります。そのような変化にしっかり自分から合わせられる力強さを発揮する年にしてください。

さて、今日から3学期です。6年生は卒業式までちょうど50日です。ほかのみなさんは修了式まで51日です。3学期はとても短いです。

この3学期に大切にしてほしいことを話します。それは仲間を大切にすることです。クラスの仲間にはいろいろな人がいます。絵が得意な人、人を笑わすのが得意な人、学習が大好きでよく発表する人、人前に出るのが苦手な人、人の気持ちを掴むのが苦手な人、運動が苦手な人など、いろいろな人がいると思います。クラスの仲間のよいところを認め、苦手なところは助ける、お互いに助けたり助けられたりする、そのようなクラスにしてほしいです。逆に自分が気に入らない相手だからといっていじめを行うのは最もやってはいけないことです。いじめは絶対にしてはいけません。

いじめとは、相手の気持ちを考えず、たたいたり、ものを勝手に取ったり隠したり、無視したり、悪口を言ったりして心や体を傷つけることです。いじめをしている人をみて、まねしたり、笑ったりするのもいじめです。そして、いじめをしているのを見たり知っていたりするのにそのままにしているのもいじめを認めていることになるのでいけません。

いじめを見たり知ったりしたときにみなさんにできることがあります。

一つ目は、いじめをしている人に直接「いじめはダメだ、やめなさい」と注意することです。

二つ目は、親や先生にいじめがおきていることを伝えることです。

この二つができる人のことを正義感のある人と言います。校歌にも「正義」という言葉が出てきますね。「正義」とは、正しいと思うことを貫くことです。いじめを見たり聞いたりしたときに勇気を出して「それはダメだ」と言ったりやめさせたりすることは正義です。水谷小学校の皆さんは全員正義の人になってほしいです。

いじめがなければみんな安心して楽しく学校で過ごすことができます。互いに助けたり助けられたりできる最高の学校、学年、クラスにしましょう。